

かけはし



全国学力・学習状況調査の結果より

1. 学力調査の結果

◇ 国語：「全国と比べてやや上回っている」

◇ 算数：「全国と比べてやや上回っている」

* 「全国と比べてやや上回っている」⇒本校の正答率が、全国正答率に対して+2%以上～+5%未満

2. 学力の状況

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの強み】

● 国語 ●

- 情報と情報の関係づけの仕方、図による語句と語句の関係の表し方を理解することができる。
- 人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりしながら、文章に書くことができる。
- 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。

● 算数 ●

- はじめに持っていた折り紙の枚数を、口を用いた式で表すことができる。
- 五角柱の面の数とその理由を、言葉と数を使って記述することができる。
- 円グラフの自盛りの割合を読み取ることができる。

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの課題】

▲ 国語 ▲

- △ 漢字を文の中で正しく使うことができる。「競技（きょうぎ）」という漢字が書けない子が多かった。
- △ 資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。

問題 「オンライン交流会で学校の取り組みを紹介しています。図書委員会の取組について、和田さんは村木さんの発言を受けて言葉を返しました。話し方の工夫として適切な物を選びましょう。」

正答例 「相手が興味を持っていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。」

※ 相手が「おもしろそうですね。」と興味を示している言葉に気づかず、興味を持っていないと判断してしまった子が多かった。日頃より、言葉から相手の気持ちを考えること、相手の発言に自分の考えを返していくことを大切にしていかなければならない。

▲ 算数 ▲

- △ 示された情報をもとに、表を読み取って式に表し、桜の開花予想日を求めることができる。
- △ 速さが一定であることをもとに、道のりと時間の関係について考察できる。

問題 「たけるさんは、3分間で180m歩きました。同じ速さで歩き続けると、1800m歩くのに何分間かかりますか。」

正答例 「 $1800 \div 180 = 10$ 10倍だから、 $3 \times 10 = 30$ 答えは30分間」

※ 1分間で180mと勘違いをして10分間と答えたり、1分間で60m進むことを求めそのまま60分間と答えたりしていた。実際の生活の中でも活用できるような「速さとは」の概念を問われている問題であったので、これからの授業の中でも重要視していかなければならない。

3. 学習の状況

【良いところ】

- **学習意欲**
 - 「国語の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、23.8ポイント高い。
 - 「算数の勉強は大切」と回答した児童が、全国に比べて、5.5ポイント高い。
- **自尊心・将来の夢や目標・人権意識**
 - 「自分には良いところがある」と回答した児童が、全国に比べて、6.6ポイント高い。
 - 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が、全国に比べて、5.1ポイント高い。
 - 「いじめはどんな理由があってもいけない。」と回答した児童が、全国に比べて、8ポイント高い。

学習意欲は、国語も算数も全国比を上回っています。また、自尊心も高く、将来の夢や目標を持っている児童が多いです。学年に応じて継続的・系統的に、人権教育、キャリア教育を積み上げてきた成果があらわれていることが考えられます。

【課題】

▲ 家庭学習の時間 ▲

- 「学校以外で普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」
3時間以上：6.3% 2時間以上3時間未満：18.8% 1時間以上2時間未満：37.5%
30分以上1時間未満：37.5% 30分より少ない：0% しない：0%
- 「学校以外で学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」
4時間以上は0% 3時間以上4時間未満：12.5% 2時間以上3時間未満：12.5%
1時間以上2時間未満：18.8% 1時間より少ない：37.5% しない：18.8%

家庭学習の習慣づくりが課題として挙げられます。平日の学習時間に比べ、休日の学習時間が少なくなっています。また、全国に比べて学習時間が短い結果となっています。「学習時間が短い」という課題に、「ゲームやスマホの時間が長い」という課題が影響していると考えられます。

4. 調査結果をふまえて

(学力向上に向け、子どもたちに頑張らせたいこと)

- ① ゲームの時間やスマホ等の動画視聴時間を減らす。
- ② 自主学習を定着させ、休日の学習時間を増やす。
- ③ 読書の時間を増やす。

保護者の皆様へお願い

この調査の結果をもとに、学校では、強みを伸ばし、弱みについては日々の学習の中で確かめ、今後の授業改善に生かし、『よくわかると実感できる授業』をめざして取り組んでいきます。しかし、学力の定着には家庭の協力が不可欠です。本年度の学校マニフェスト・PTAマニフェストの目標は「家庭学習・自主学習・読書習慣の定着」です。学校では、「家庭学習の手引き『こんな学習をしよう!』」をもとに、学年に合わせた自主学習の方法や読書の楽しさを教えています。ご家庭でも、子どもさんとゲームやスマホの時間や使い方を今一度相談し、ゲームやスマホの時間を減らし、学習や読書の時間が少しでも増やせるよう、また、それが定着するよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、6年生の保護者の皆様には、「全国学力・学習状況調査の結果(個人表)」を、4・5年生の保護者の皆様には、「みえスタディチェックの結果(個人表)」を、個別懇談会でお渡しします。それぞれの強み・弱みを子どもさんといっしょに確かめ合ってください、今後の学習に活かしてください。